



日本共産党 北区議会議員

# のの山けん区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.783 2026.4.29

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は  
お気軽に **090-2156-3510**

# まちづくりに住民の声を

## 日本共産党北区議員団が山田区長に3つの申し入れ



山田区長(中央)に要請書を手渡す日本共産党北区議員団 = 27日、北区役所

日本共産党区議団は27日、山田区長に「議員選出監査委員に関する申し入れ」「イラン攻撃の影響による物価高騰から区民の暮らしと営業を守るための要請書」「駅周辺のまちづくりに関する要請書」を提出しました。(のの山けん)

### 共産党の議員も 監査委員の対象に

監査委員に関する申し入れでは、40年余にもわたって日本共産党の議員が監査委員から外されていることを指摘し、従来の方法を見直して共産党議員も選出の対象とするよう求めました。

### イラン攻撃の影響 から暮らし守れ

暮らしの問題では、米・イスラエルによるイラン攻撃によってホルムズ海峡が封鎖され、その影響が国内にも物価高騰・資材不足などの形で始めていることから、小規模事業者に対する助成措置の創設や緊急融資の要件緩和、医療機関に資材・燃料費値上げの影響をやわらげる助成措置を実施することなどを求

めました。

### 大型開発のまちづくりは見直しを

まちづくりの問題では十条に続き、王子や赤羽でも大型開発の動きが加速していることを指摘し、王子駅周辺の先行実施地区の計画案について再度説明会を開催するとともに、今後予定されている各種説明会でも参加者の声を計画に反映させる十分な時間と場所を確保するよう求めました。

また、赤羽でのガイドライン策定検討で非公開とされている部会や庁内検討はすべて公開とし、再開発か修復型かの事業手法は住民の合意を踏まえて決定するよう要請。

さらに、市街地再開発による大型開発のまちづくり方針を抜本的に再検討するよう求めました。

# 赤羽駅周辺 まちづくり ガイドライン検討始まる

28日、赤羽会館で第1回赤羽駅東口地区まちづくりガイドライン策定検討会が開催されました。

検討会は3人の学識経験者のほか、地元関係諸団体、東京都、警視庁、交通事業者などの代表ら19人で構成されます。会長には、東京科学大学名誉教授の中井裕裕氏が選任されました。

ガイドラインは、昨年7月に策定された「赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画」を受けて、まちづくりの事業手法や赤羽小学校、赤羽公園などの改築・整備方針などを具体化する計画で、「はじめに」「赤羽駅周辺について」「まちづくりの戦略」「実現化方策」「整備計画」の5つの章で構成する案が示されました。今年度と来年度に「5回程度」の策定検討会を

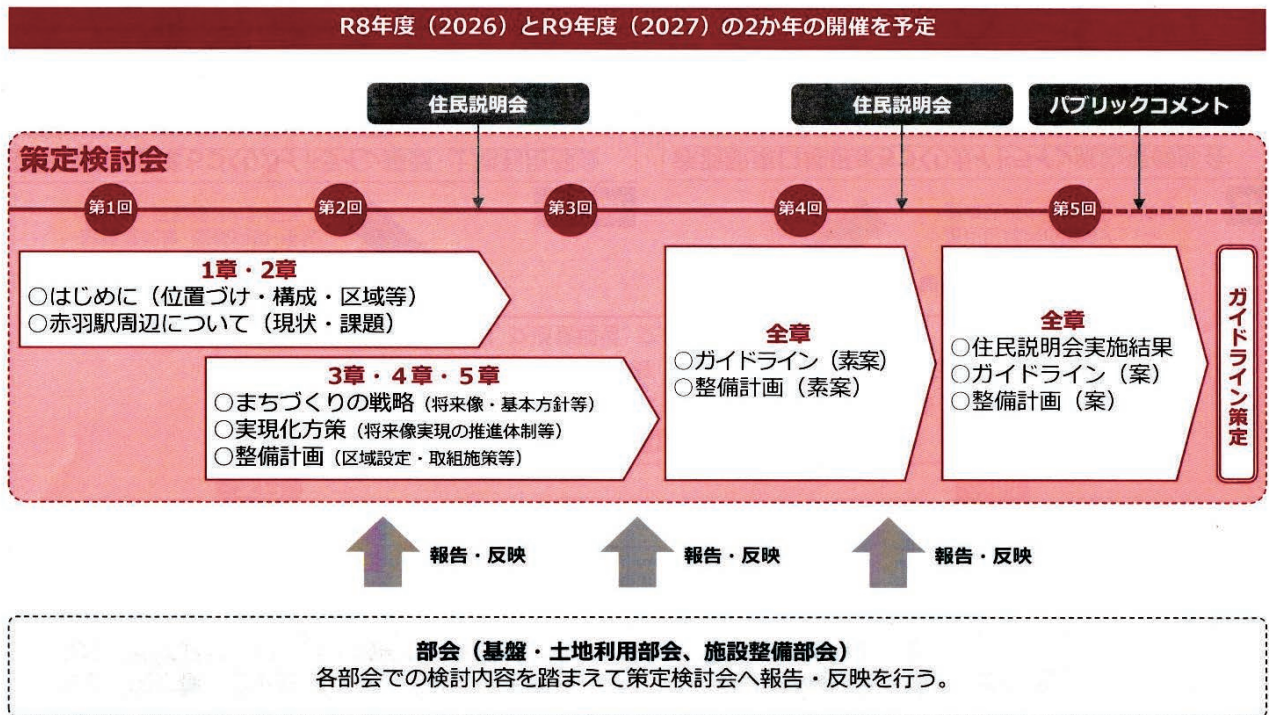
開催する予定で、2回目、4回目の検討会後に住民説明会を開くとされています（**下図参照**）。

検討会の間に基盤・土地利用部会、施設整備部会の2つの部会が開かれますが、部会は「非公開」、赤羽小の改築方針、赤羽会館等の整備方針を別途検討し、施設整備部会に提案する庁内会議も「非公開」となっています。

今回の検討では、区（事務局）から基本計画の概要とガイドラインの内容の説明があり、若干の意見交換が行われました。早ければ夏頃に開かれる第2回検討会にも具体的な事業手法が示される予定ですが、住民の意見を聴取しないまま、市街地再開発事業をガイドラインに位置づけるようなことがあつてはなりません。（のの山けん）

### （3）策定検討会のスケジュール

「ガイドライン」は、専門的検討を行う部会を適宜開催しながら、5回程度の「策定検討会」を行い、概ね2か年で策定することを予定している。



毎週の区政レポートを  
スマホに自動配信!!

LINE公式 登録受付中! →

